

週報

降誕節第2主日礼拝

2024年1月7日 午前10時30分

司式 細井伝道師
配餐 配餐奉仕者
奏楽 奏楽奉仕者

前奏 奏楽者
 招詞 司式者
 頌栄 真理は主イエス・キリスト
 交読 詩編 48編 一同
 聖書 ヤコブの手紙 第1章5～8節 (新)p.421
 祈禱 司式者
 讃美歌 21-18番 一同
 使徒信条 21-93番(4-A) 一同
 讃美歌 21-533番 一同
 説教 「神様を信じてお祈りしよう」 牧師
 聖餐式 牧師
 讃美歌 21-81番 一同
 献金 困難にある人々への連帯を祈りつつ
 感謝 献金奉仕者
 主の祈 21-93番(5-A) 一同
 讃美歌 21-91番 一同
 祝禱 牧師
 後奏 (黙禱) 奏楽者

【2023年度年間聖句】

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。(イザヤ書 43章19節a)

【今週の祈り】

- ・能登半島地震の被災者・被災教会のために。
- ・病や困難の中にある友のために。
- ・巣鴨ときわ教会と平井文則牧師のために。

【本日の集会】

- ・9:40-10:20 教会養育(お大根の収穫)
- ・10:20-10:30 礼拝準備祈禱会
- ・10:30-11:45 主日礼拝
- ・11:45-12:00 讃美歌練習(担当:奏楽奉仕者)
- ・12:00- お茶の会(自由参加)
どなたでもどうぞ

【今週の集会】

・聖研祈禱会 1月11日(木)10:30-11:30
ルカ福音書6章12～26節 (新)p.112

【次主日の案内】

・降誕節第3主日礼拝 1月14日 10:30-11:30

司式: 細井 宏一伝道師

交読: 詩編 49編

聖書: ヤコブの手紙2章8～9節 (新)p.423

説教: 「みんながお友だち」

献金: 献金奉仕者

奏楽: 奏楽奉仕者

讃美歌: 21-18(心を高くあげよ!)

21-533(どんな時でも)

21-486(飢えている人と)

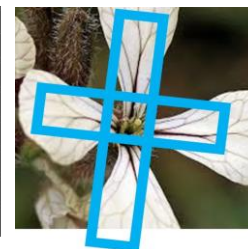
※ ニューイヤーコンサート参加のため、1月定例役員会
は1月21日(日)礼拝後に変更します。

「七草粥」と「春の七草」

「七草粥」とは人日の節句(1月7日)に食べられる日本の行事食。平安時代に始まり、和食の汁物の原型となったとされている。春の七草を具材とするこの粥の食材は、下表のようにアブラナ科が多いことに気づく。アブラナ科は4枚の花弁が十字架状をしており、別名・十字花科とも呼ばれている。その特徴は、「ミロシン細胞」という特殊な細胞をもち、傷つくと細胞内の酵素(ミロシナーゼ)が作用して、ワサビや大根おろしに特有のツンとした辛味成分を造り、昆虫などの食害や腐敗から身を守る点にある。

んっ? その効果が様々な害や腐敗を防ぐ、と聞くとそれは、キリスト者が目指すこの世での生き様と重なるような気がする。花の形状が十字架のようだとすれば尚更に。そう考えると「七草粥」とは、日本人クリスチャンに与えられた得も言われぬ神様からの恵みだと思えてならない。今年もしっかりと味わいたいものだ。

名称(現代名)	植物分類
セリ(芹・セリ)	セリ科セリ属
ナズナ(べんべん草)	アブラナ科ナズナ属
ゴギョウ(母子草)	キク科ハハコグサ属
ハコベラ(繁縷・ハコベ)	ナデシコ科ハコベ属
ホトケノザ(小鬼田平子)	キク科ヤブタビラコ属
スズナ(蕪・カブ)	アブラナ科アブラナ属
スズシロ(大根)	アブラナ科ダイコン属



■ 水越 孝太さんの「ニューイヤーコンサート」

日時: 2024年1月14日(日) 13:30 開場 (14:00 開演)

場所: 富士見ヶ丘三丁目防災コミュニティセンター (入場無料)

■ 集会報告

【教会養育】 12月31日(日) 男4、女4、計 8名

【主日礼拝】 12月31日(日) 男4、女4、計 8名

【聖研祈禱会】 1月 4日(木) 男2、女2、計 4名

■ 献金・献花報告

【礼拝献金】 12月31日(日) 7, 230円

【献花】 (お花: センリョウ)

○礼拝前は静かに心を整えましょう。

○聖書にあらかじめ目を通しましょう。

○祈禱中、礼拝堂への入場は待ちましょう。

○礼拝後は、交わりの時を。